

有限会社 M.M.Aコンサルティング

こんなことで困っていたら、ご相談ください。

いまどうなっているのか。よく知りたい。
システムを入れたが、思ったほど効果が出でていない。
原価計算をしっかり作り上げたい。
業務プロセスを見直したい。
経営計画をつくっては見たが、活用されていない。
社員が思ったとおり動かない。社員と一緒に組織を作り上げたい。
今一度、事業や組織作りを見直したい。
何かをしなければならないと思っているが、まとまりがつかない。
後継者に事業をうまく引き継ぎたい。



具体的なサポート例

企業診断とその後のプロセスコンサルティングを通じて、ブレを抑え、
社内の活性化を図り、ムリ・ムラ・ムダのない経営をサポートしていきます。

訪問	予診会議（お話を聞きし、明確となっている問題あるいは潜在化している問題について、検討していきます。）
企業診断 (全体あるいは個別診断)	資料調査・社内ヒアリングの実施・アンケートの実施など
問題点の整理及び改善案の提案	経営者及び関連社員との会議設定 ディスカッション
具体的活動プランの決定	経営者と関連社員との目標のベクトル合わせと役割ごとの活動計画の決定
活動状況のモニタリングとフィードバック	よりよくするための課題の掘り起し

内部ですむのならばいいのですが、
外部者（プロセスコンサルタント）が加わることでの得られる効果と役割

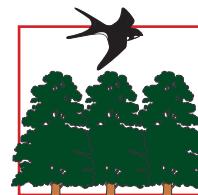
中小企業の経営は、経営者に依存します。また、例えば1人の有能な営業マンの存在のみで会社の業績が左右されてくるというのも、事実です。

企業が、経営者や社員という人間の集団である以上、経営者や社員が歳をとるにつれて、企業も知らず知らずのうちに歳をとっています。

人間と同じで、歳をとると企業は体が重くなったり（組織が誇大化したり）、反応が遅くなったり（経営者と社員との意思疎通が難くなったり）して、なかなか自分の生活を変えることができなくなります。

その一方、企業を取り巻く環境は変化を続けていて、以前のやり方が、すべて今の状況で最善ではなくなっていることが多々見られるようになってきています。

このような部分から生じる企業の症状に対し、内部で対応しきれるのならいいのですが、資源が限られる中小企業ではなかなかすべてに対応できるマンパワーを備えるのは難しいのが現実だと思います。そんな中小企業のために、専門知識を有するプロセスコンサルティングを行う外部者として、内部に積極的に関与することで、個別的な問題に取り組みながらも組織全体が活性化できるようサポートしていきます。



鳥眼的経営

ジャングルを飛び鳥は、目の前の木をよけながら、なぜ、目的地にたどりづけるのか。現実を直視しながら、先を見つづける。人は迷いやすいですが、目の前のことだけに注視すると、行き先がわからなくなります。迷わないため、あるいはどちらに行くべきか決断の補佐役として、役割を果たします。



経営者と社員の橋渡し

企業は経営者のものです。社員もそれは十分知っています。その関係の中で、社員は社員なりにこうすればもっとよくなるのにと思っているけれど、社長には言えないなんて風土ができてしまっている場合があります。じゃ、社長が、いいから言えといつても、やはり今日の明日では、変わることはできないでしょう。そんな関係の中で、両者の意見を整理し、建設的な場に変革していく役割を果たします。



外部的視点

企業の内部には、必然的に風土が出来上がっています。いい風土も、悪い風土も。内部では、この風土により、社内に硬直した意思決定がされづけているなら、周りが見えなくなります。企業風土を否定するものではなく、現状の企业文化を客観的に観察する役割を果たします

公認会計士・税理士・中小企業診断士の資格と経験も有する代表者だからできるサポート作り

企業は、人、もの、力、情報などの資源で動いています。これらの1つだけに着眼した改善は、バランス的にムリを生じさせます。鳥眼視した上で、ブレないバランスある改善が、必要です。

この他にも、社長の個人的相談（個人資産の運用、事業承継）や社内にノウハウがない部分についてのコンサルティングなど、お気軽に相談ください。フルタイムでの雇用することができない専門的な部分を、サポートしていきます。



不足する情報的・システム的アプローチ及びシステム実行部分については、当社が絶対的に信頼している日本スプリード株式会社との提携により、できないということがない体制を整えています。